

Big Vendors Look to Asia
\$100M Investment Program - Brocade
Disaster Recovery as a Service - HP
Dated: April 25, 2011
Reported by: Mischa Senf

大手ベンダーはアジアを視野に

DCの急増によってネットワーク機器の市場が拡大しているのは、日本のマーケットに限った動きではない。インドや中国、タイなどのアジア各国でも、クラウドコンピューティングの普及が急速に進んでおり、ネットワーク機器/ソリューションのハイエンド需要が高まってきている。米国などの大手ネットワーク機器ベンダー各社は、アジア太平洋地域 (APAC) のハイエンド市場の開拓に意欲を示している。

1億ドルの投資プログラム

日本を柱の一つとしてアジア戦略を強化している米ブロカードは、アジア各国で、DC向けイーサネットソリューションの展開を加速化している。同社の地域別売上構成比 (2011年第

1四半期) は、米国が59%で、その他のグローバル市場が41%だが、急成長しているアジアでの事業を拡大することによって、グローバルの売上構成比を引き上げるなど、アジア市場を重視した事業戦略を推し進めている。

そのアジア戦略の一环として、今年3月、DC事業者などユーザー企業に向けて、1億ドルの投資計画を策定した。ネットワーク設計に用いるイーサネット・ファブリックを中心に、クラウドインフラ製品のテスト費用のカバーを柱とするとい



ブロカード
ジョン・マックヒュージ
バイスプレジデント

うものだ。

ジョン・マックヒュージ バイスプレジデントは、「今後も継続的に投資を拡大することで、アジアでの市場開拓に積極的に取り組んでいく」ことを方針として掲げている。

2010年、DC向けソリューションに強いネットワーク機器ベンダーの3comを買収して、ネットワーク事業の拡大を急いでいるヒューレット・パッカード (HP) も、アジアのハイエンド市場に目を向けている。今後、3comの買収によって実現したプライベート/パブリック/ハイブリッドのクラウド環境全体でサービスを構築・管理できるシステム「HP CloudSystem」を主な商材として、アジアのハイエンド市場を攻略していく考えだ。「HP CloudSystem」は、大手企業やDCを運営するサービスプロバイダを狙ったソリューションということから、アジアで展開するポテンシ

ヤルが大きいとみている。

DR as a Serviceを提供

HPのステューブ・ダイチ バイスプレジデントは、「アジアでのハイエンド向けネットワーク機



ヒューレット・パッカード
ステューブ・ダイチ
バイスプレジデント

器市場の年間成長率については5%前後とみているが、当社はアジアにおいて市場の成長率を超えたペースで事業を拡大している」と自信満々だ。東日本大震災が発生したのをきっかけに、今後はアジア各国でディザスタリカバリ (DR) のニーズが高まると見越して、クラウド型のディザスタリカバリサービス「DR as a Service」を提供するなど、動きを活発化していく。